

平成 21 年度山下記念研究賞表彰（概要）

詳細は学会 Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp/>) をご覧ください。

山下記念研究賞は、当初は研究賞として本学会の研究会および研究会主催シンポジウムにおける研究発表のうちから特に優秀な論文を選び、その発表者に贈られていたものですが、故山下英男先生のご遺族から学会にご寄贈いただいた資金を活用するため、平成 6 年度から研究賞を充実させ、山下記念研究賞としたものです。受賞者は該当論文の登壇発表者である本学会の会員で、年齢制限はありません。本賞の選考は、表彰規程、山下記念研究賞受賞候補者選定手続および山下記念研究賞推薦内規に基づき、各領域委員会が選定委員会となって行います。本年度は 35 研究会の主査から推薦された計 51 編の優れた論文に対し、慎重な審議を行い、決定されたうえで、理事会（平成 21 年 7 月）および調査研究運営委員会に報告されたものです。本年度の受賞者は下記 51 君で、3 月 9 日に東京大学で開催される第 72 回全国大会の席上で表彰状、賞牌、賞金が授与されます。

【コンピュータサイエンス領域】

- **ロックフリー GCLOCK ページ置換アルゴリズム**
[Web とデータベースに関するフォーラム (WebDB Forum) 2008 (H20.12.2)] (データベースシステム研究会)
油井 誠君 (正会員)
- **ジャクソン法 (JSP) による状態遷移設計**
[ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム 2008 (H20.9.3)] (ソフトウェア工学研究会)
紫合 治君 (正会員)
- **Web アプリケーション開発向け AOP 機構の実装**
[2009-SE-163 (H21.3.18)] (ソフトウェア工学研究会)
外村慶二君 (学生会員)
- **予測ミスした命令の実行を継続する投機手法**
[2008-ARC-178 (H20.5.13)] (計算機アーキテクチャ研究会)
喜多貴信君 (学生会員)
- **組み込み向けマルチコア SoC における周期的プロセッサ間通信手法の提案**
[2008-ARC-179 (H20. 8. 7)] (計算機アーキテクチャ研究会)
上久保雅規君 (正会員)
- **マルチコア SH における複数カーネル実行機構の設計と実装**
[2008-OS-109 (H20.8.7)] (システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会)
下沢 拓君 (学生会員)
- **広域分散環境のための仮想機械を利用したサービス協調複製基盤**
[コンピュータシステムシンポジウム 2008 (H20.11.12)] (システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会)
杉本章義君 (正会員)
- **プロパティ分割と限定モデル検査を利用した長い反例を持つ設計誤りの検出手法**
[DA シンポジウム 2008 (H20.8.26)] (システム LSI 設計技術研究会)
西原 佑君 (学生会員)
- **トレースログ可視化ツールの開発**
[2009-SLDM-139 (H21.3.6)] (システム LSI 設計技術研究会)
後藤隼式君 (正会員)
- **CUDA 環境における高性能 3 次元 FFT**
[先進的計算基盤システムシンポジウム (SACSIS 2008) (H20. 6.12)] (ハイパフォーマンスコンピューティング研究会)
額田 彰君 (正会員)
- **GPGPU 上での流体アプリケーションの高速化手法～1GPU で姫野ベンチマーク 60GFLOPS 超～**
[2008-HPC-117 (H20.10.15)] (ハイパフォーマンスコンピューティング研究会)
成瀬 彰君 (正会員)
- **JNI プログラム中のバグ発見**
[(H20.5.22)] (プログラミング研究会)
近藤 豪君 (正会員)
- **A Proof of the Molecular Conjecture**
[2009-AL-123 (H21.3.5)] (アルゴリズム研究会)
谷川真一君 (学生会員)
- **内包の核を考慮した疑似形式概念の Top-N 抽出**
[2008-MPS-71 (H20.9.18)] (数理モデル化と問題解決研究会)
大久保好章君 (正会員)
- **COSMIC 法による機能規模測定の信頼性評価**
[2008-EMB-9 (H20.6.19)] (組込みシステム研究会)
野中 誠君 (正会員)

【情報環境領域】

- **作業トレースによる工業製品の品質保証の試み**
[2008-DPS-135 (H20.6.19)] (マルチメディア通信と分散処理研究会)
佐藤永欣君 (正会員)
- **MANET におけるノードの信頼度を用いた利己的ノードの検出方法**
[2008-DPS-137 (H20.11.28)] (マルチメディア通信と分散処理研究会)
佐藤文明君 (正会員)
- **指の近接／接触検知が可能な 3 次元タッチパネル**
[2009-HCI-131 (H21.1.26)] (ヒューマンコンピュータインタラクション研究会)
岡野祐一君 (正会員)
- **固有解を用いた表面下散乱の高速表示**
[Visual Computing / グラフィクスと CAD 合同シンポジウム (H20.6.21)] (グラフィクスと CAD 研究会)
新谷幹夫君 (正会員)
- **典型的曲線の非定常化とその曲面への拡張**
[2008-CG-133 (H20.11.8)] (グラフィクスと CAD 研究会)
三浦憲二郎君 (正会員)
- **食品加工工程における余剰在庫削減を目的とした生産計画立案システムの構築**
[2009-IS-107 (H21.3.18)] (情報システムと社会環境研究会)
十文字豊君 (学生会員)
- **多重多型トピックモデルを用いたアノテーション付きテキストからのエンティティ検索**
[2008-FI-91 (H20.6.20)] (情報学基礎研究会)
江口浩二君 (正会員)
- **テレビ視聴環境を利用した顔認識のための変動学習**
[2009-AVM-64 (H21.3.6)] (オーディオビジュアル複合情報処理研究会)
松尾賢治君 (正会員)
- **滞在場所を考慮したコミュニケーション検出システム**
[GN ワークショップ 2008 (H20.11.7)] (グループウェアとネットワークサービス研究会)
注連隆夫君 (正会員)

- メンバ間協力関係の図示ツールとその事例による評価
[2009-GN-70 (H21.1.23)] (グループウェアとネットワークサービス研究会)
鵜飼孝典君 (正会員)
- WEB上の画像の分類とメタデータ付与による携帯電話向けWEB表示
[2009-DD-70 (H21.3.25)] (デジタルドキュメント研究会)
成川夏子君 (正会員)
- センサネットワーク省電力化機構HGAFにおけるノード間ネットワーク接続性に関する検討
[2008-MBL-45 (H20.5.22)] (モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会)
稲垣徳也君 (正会員)
- ワイヤレスセンサネットワークの設計開発支援環境D-sense
[マルチメディア, 分散, 協調とモバイル (DICOMO2008) シンポジウム (H20.7.9)] (モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会)
森 駿介君 (学生会員)
- ボット攻撃における加害者PCおよび指令サーバの探索
[マルチメディア, 分散, 協調とモバイル (DICOMO2008) シンポジウム (H20.7.9)] (コンピュータセキュリティ研究会)
竹森敬祐君 (正会員)
- 情報セキュリティ対策におけるモチベーションの構造に関する研究
[コンピュータセキュリティシンポジウム 2008 (H20.10.10)] (コンピュータセキュリティ研究会)
菅野泰子君 (正会員)
- 指向性アンテナおよび車車間通信を用いた歩行者位置追跡手法とその評価
[2009-ITS-36 (H21.3.5)] (高度交通システム研究会)
澤 悠太君 (正会員)
- MANETにおける通信グレーゾーン問題を考慮した高スループット経路の選択手法の提案と評価
[2008-EVA-25 (H20.6.27)] (システム評価研究会)
田頭茂明君 (正会員)
- 振動波と加速度センサを用いた物体間の接触関係の取得手法
[2008-UBI-19 (H20.7.18)] (ユビキタスコンピューティングシステム研究会)
柳沢 豊君 (正会員)
- 全教員に個別ファイアウォール機能を提供するキャンパスネットワークの構築
[2008-IOT-2 (H20.7.24)] (インターネットと運用技術研究会)
相原玲二君 (正会員)
- 目的環境に適合した最小パッケージ構成の自動構成システム
[インターネットと運用技術シンポジウム (IOTS2008) (H20.12.4)] (インターネットと運用技術研究会)
八木貴之君 (正会員)
- [フロンティア領域]
- 全ての部分文字列を考慮した文書分類
[2008-NL-187 (H20.9.25)] (自然言語処理研究会)
岡野原太輔君 (学生会員)
- 重要文抽出と文圧縮を組み合わせた新たな抽出的要約手法
[2009-NL-189 (H21.1.22)] (自然言語処理研究会)
富田紘平君 (学生会員)

- 複雑ネットワークからの構造情報抽出
[2009-ICS-155 (H21.3.21)] (知能と複雑系研究会)
大沢英一君 (正会員)
- 屋外環境下における大規模拡散反射物体の表面色推定
[2008-CVIM-163 (H20. 5. 8)] (コンピュータビジョンとイメージメディア研究会)
川上 玲君 (正会員)
- 局所特徴量の関連性に着目したJoint特徴による物体検出
[2009-CVIM-166 (H21.3.13)] (コンピュータビジョンとイメージメディア研究会)
藤吉弘亘君 (正会員)
- ICTの活用と論述力支援の実践
[2008-CE- 97 (H20.12.20)] (コンピュータと教育研究会)
奥田麻衣君 (学生会員)
- 情報系工学科におけるロボットを用いた組込みシステム教育の実践
[2009-CE- 98 (H21.2.28)] (コンピュータと教育研究会)
早川栄一君 (正会員)
- Google Earthと『乾隆京城全図』を用いた北京歴史空間の情報基盤
[人文科学とコンピュータシンポジウム (じんもんこん 2008) (H20.12.20)] (人文科学とコンピュータ研究会)
西村陽子君 (正会員)
- コンピュータによる訓点資料の整理について
[人文科学とコンピュータシンポジウム (じんもんこん 2008) (H20.12.21)] (人文科学とコンピュータ研究会)
岡本隆明君 (正会員)
- VocaListener: ユーザ歌唱を真似る歌声合成パラメータを自動推定するシステムの提案
[2008-MUS-75 (H20.5.28)] (音楽情報科学研究会)
中野倫靖君 (正会員)
- Orpheus: 歌詞の韻律に基づく自動作曲システム
[2008-MUS-76 (H20.8.8)] (音楽情報科学研究会)
深山 覚君 (学生会員)
- 集合知を利用した語彙情報の収集・共有・管理システム
[2008-SLP-71 (H20.5.23)] (音声言語情報処理研究会)
中野鐵兵君 (正会員)
- 会議録作成支援のための国会審議の音声認識システム
[2008-SLP-74 (H20.12.10)] (音声言語情報処理研究会)
秋田祐哉君 (正会員)
- 将棋の棋譜を利用した, 大規模な評価関数の調整
[ゲームプログラミングワークショップ 2008 (H20.11.9)] (ゲーム情報学研究会)
金子知適君 (正会員)
- 分散制御されたLEDマトリックスを用いた電飾アート制御プラットフォーム
[2009-EC-12 (H21.3.8)] (エンタテインメントコンピューティング研究会)
木下浩平君 (正会員)
- 木の最適ラベリング問題とその進化系統樹への応用
[2009-BIO-16 (H21.3.6)] (バイオ情報学研究会)
柳橋史成君 (学生会員)

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、8月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、特集「音楽情報処理技術の最前線」については、以下のよう
なご感想・ご意見をいただきました。

■「歌声合成とその応用」は、大変興味深く読ませていただきました。歌声を音素としてサンプリングしておき、それを使い回す、というアイデアは非常にシンプルですが、実用になるまでには計り知れないご苦労があったと思います。70年代プログレッシブロック全盛（初期）の頃、よく使われた楽器にメロトロンというものがありました。オルガンやコーラスを録音したテープを、キー入力に合わせて再生する、というとてもないサンプリング楽器でした。久しぶりに思い出しました。（匿名希望）

■西洋音楽理論以外からのアプローチや、我が国で重点的に取り組んでいる分野などの特徴が分かれると、より楽しく読めたのではないかと思います。（古瀬慶博）

■音楽情報処理が対象だけに、デモ音源 DL 用 URL を表記する等、そろそろ紙面だけではなく、Web とも連動させたリッチメディア化を「情報処理」でも検討すべき時期なのではないかと強く思いました。（匿名希望）

■普段の生活のいたるところで聞く音楽に関する音楽情報処理全般が分かりやすく解説されており、とても参考になりました。特に、駅や案内板などの合成音声では片言の日本語がこれまで用いられてきておりますが、先端の音楽情報処理技術はここまで進化していたのかと驚かされました。また、膨大な音楽から個人に適した音楽を推薦する技術の進化は、今後の音楽と個人との関係や、コンピュータと個人との関係を大きく変えるであろうと思いました。（匿名希望）

■音楽情報処理に関しては大変興味深く読ませていただきましたが、可聴化など個別のところをさらに掘り下げた解説がほしかったです。（祖父江真一）

■特集の「音楽情報処理技術の最前線」では、幅広いメディアで露出している Vocaloid について、内部で利用されている技術が解説されていてよかったです。（高野光弘）

■以前あるバラエティ番組で詩吟の先生が、伝統邦楽譜の書き方で詩吟の詠い方を黒板に書いて、あるタレントを指導さ

れていました。このようなケースで手書き譜を電子的に清書できるようになると、楽譜を気軽に書くことを通して伝統邦楽がもう少し身近になるのではないかと思います。

（木村高久）

■音楽情報処理は、基本的な情報処理技術の積み重ねであると感じました。開発・研究の対象が広いため、何か大きなブレークスルーをもたらす技術が出にくいのかかもしれません。

（阪本俊幸）

■子供がいつもインターネットで Vocaloid の歌を聴いており「歌声合成とその応用」を親子で興味深く読ませていただきました。子供が情報処理学会のことを知る良いきっかけになったのではないかと思います。しかし、小学生に内容の理解を期待するのは無理なようです。（中嶋公二）

■歌声合成の技術の進歩は、想像以上に進んでいます。たとえば、今年8月中旬にさいたま市で行われたある音楽フェスティバルでは、人間のアーティストと歌声合成のアーティストが共演しており、私もその場に居合わせました。歌声合成のアーティストの歌はまったく違和感を感じさせませんでしたし、聴衆の反応も、大変好意的でした。（水野光朗）

■個人的には、音楽はコミュニケーションの1つであり、自己表現の1つとして行われると考えています。そのため、楽器等の習得に時間とお金をかけられない人にも自己表現の機会を与えてくれる情報処理機器は、もっと発達してほしいと思っているので、今回の特集は興味深く読めました。（匿名希望）

解説「マルチコア向けのソフトウェア開発／デバックの基礎と実際」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■マルチコア向けソフトウェア開発の記事を興味深く拝見させていただきました。特に性能阻害要因について、どのような原理で性能が阻害されているのか、また、どれほどの影響があるのかが、分かりやすく解説されており参考になりました。（高野光弘）

■「マルチコア向けのソフトウェア開発／デバックの基礎と実際」は、チップメーカーが6コア、8コアの製品を出している状況の中、ちょうど基本仕様や技術を見直そうとしていたところなので、大いに役に立ちました。アプリからハードウェアまで、相互の関係を考えて設計することは難しいですが、高速化や信頼性向上には不可欠な技術であり、興味深く読ませていただきました。紹介された支援ツールも役立つと思いますが、その他のツールや手段についても URL の紹介があると良かったと思います。（匿名希望）

■マルチコア／マルチスレッドに対応したソフトウェアの解析やデバックに苦労しています。継続的に事例を挙げながら解決方法を紹介していただきたいと思います。（匿名希望）

その他の記事につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■「眼科遠隔診療システムの開発と運用」は参考になりました。医療に関係する情報システムの発展には大いに期待したいと思います。(佐藤 淳)

■STOCの参加報告を大変興味深く拝読いたしました。今後、他の分野についても一流の国際会議の参加報告を掲載していただきたいと思います。(匿名希望)

■STOC2009：最先端の国際会議を定期的に紹介していくことは重要だと思います。特に、社会人になってから情報技術をはじめた人だと、どの国際学会が重要かなどは、ほとんど分かりません。これからも紹介記事をお願いします。(酒井 敦)

■"I" 見聞録は、どういう主旨で連載が開始されたか不明です。展示会の紹介を毎回するのではないかと思いますので、今後どのような記事を掲載していくのか、簡単にでも冒頭に紹介があっても良いのではと思いました。(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■ソフトウェアの構成管理技術について、実用的な応用が増えてきているので取り扱ってほしいです。特に分散レポジトリの構成管理については幅広く使われつつあり、興味深い分野だと感じています。(高野光弘)

■3D関係の技術紹介をお願いしたいと思います。

(匿名希望)

■先月、今月と特集の論文が基礎研究よりな内容に偏ってしまった感があります。投稿が偏ってしまったのかも知れませんが、基礎研究だけでなく応用に関しても、できるだけ載せていただきたいと思います。(川上明浩)

■splog対策に関する記事をお願いしたいと思います。

(竹田隆治)

■初心者を対象とした各分野の教育方法についての記事があれば読んでみたいです。(匿名希望)

■編集長の会誌の感想は必須だと思います。良い伝統だったと思いますので、なくさないでいただきたいと思います。私の場合、会誌の概要をざっと知るため始めに読んでいます。8月号は編集長の会誌の感想がなかったので残念でした。

(酒井 敦)

■論文誌が電子化されたとともに、全体に目を通すことが少なくなっていました。同じような会員も多いのではないかと推測されます。タイトルとアブストラクトを学会誌に掲載したり、メーリングリストで配信したりしてはいただけないでしょうか？(匿名希望)

【本欄担当 松下孝太郎、加藤 豪／書評・ニュース分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」<URL:<http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>>に掲載していますので、そちらもご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>>で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
情報処理学会 会誌編集部
E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!!



IP SJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
2009年				
	論文誌「情報教育～理論・評価・発展～」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/10-D.html	11月25日(水)		
	論文誌「人と組織の社会貢献を支えるコンピュータセキュリティ技術」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/10-E.html	11月30日(月)		
	平成21年度喜安記念業績賞候補推薦募集 http://www.ipsj.or.jp/03somu/gyoseki/H21/h21boshu.html	12月4日(金)		
	論文誌「未来志向のソフトウェア工学」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/10-H.html	1月6日(水)		
	論文誌「ゲームプログラミング」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/10-F.html	1月25日(月)		
11月13日(金)～	第14回ゲームプログラミングワークショップ2009(GPW-09) http://sig-gi.c.u-tokyo.ac.jp/gpw/2009/	7月27日(月)	定員になり次第	箱根セミナーハウス
11月15日(日)	四国支部創立20周年記念「四国オープンソースセミナー」 http://ipsj-shikoku.is.kochi-u.ac.jp/OSC2009Kochi-SOSS/		参加費無料	高知市文化プラザ かるぽーと
11月16日(月)	第30回システム評価研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/EVA30.html	9月14日(月)	当日のみ	大阪大学大学院 情報科学研究科
11月16日(月)～	第194回自然言語処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/NL194.html	10月2日(金)	当日のみ	愛媛大学 総合情報メディアセンター
11月17日(火)	北陸支部主催研究講演会「進化する組込みシステム用リアルタイムOS」～シングルプロセッサからマルチプロセッサへ～ http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html		無料, 会員以外の方も参加可能	金沢大学自然科学研究棟 レクチャーホール
11月19日(木)	東海支部主催講演会「環境電磁波解析における信号処理とゆらぎ」 http://www.ipsj-tokai.jp/		無料, 会員以外の方も参加可能	名古屋工業大学 (名古屋市昭和区)
11月19日(木)	第96回情報学基礎研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/FI96.html	9月18日(金)	当日のみ	筑波大学東京キャンパス (秋葉原地区)
11月19日(木)～	WebDB フォーラム2009 http://db-event.jp.org/webdbf2009/	9月1日(火)		慶應義塾大学 日吉キャンパス
11月20日(金)～	第149回データベースシステム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/DBS149.html	10月12日(月)	当日のみ	慶應義塾大学 日吉キャンパス
11月21日(土)	第169回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/CVIM169.html		当日のみ	石川県地場産業振興センター
11月26日(木)～	コンピュータシステム・シンポジウム (ComSys 2009) http://www.ipsj.or.jp/sig/os/index.php?ComSys2009	7月17日(金)	11月16日(月) 早期割引締切	筑波大学
11月27日(金)	第141回マルチメディア通信と分散処理・第73回グループウェアとネットワークサービス・第46回電子化知財・社会基盤合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/DPS141GN73EIP46.html	9月25日(金)	当日のみ	呉市海事歴史科学館 (広島)
11月27日(金)	デジタル・ドキュメント・シンポジウム2009			東洋大学白山第2 キャンパス
11月27日(金)	第127回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/AL127.html	9月28日(月)	当日のみ	名古屋大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー
11月28日(土)	北陸支部主催研究講演会「天文学の発展と情報技術」 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html		無料, 会員以外の方も参加可能	金沢工業大学 多目的ホール
11月30日(月)～	第178回計算機アーキテクチャ・第123回ハイパフォーマンスコンピューティング合同研究発表会 (HOKKE-17) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/ARC178HPC123.html	9月18日(金)	当日のみ	北海道大学学術交流会館
12月1日(火)	第110回情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/IS110.html	10月6日(火)	当日のみ	産業技術大学秋葉原 サテライトキャンパス
12月2日(水)～	第142回システムLSI設計技術研究発表会(デザインガイア2009) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/SLDM142.html	9月10日(木)	当日のみ	高知市文化プラザ
12月4日(金)	連続セミナー2009「進化する組込みシステム技術」 第6回 Advanced Technique http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2009/index.html		定員になり次第	東京電機大学神田キャンパス7号館1F 丹羽ホール
12月5日(土)～	第83回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/MUS83.html	10月5日(月)	当日のみ	国立音楽大学
12月6日(日)	第67回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/AVM67.html	10月16日(金)	当日のみ	名古屋大学 東山キャンパス
12月7日(月)～	東海支部主催講演会「データの価値を創出するデータマネジメント技術」 http://www.ipsj-tokai.jp/		無料, 会員以外の方も参加可能	東桜会館1階第2会議室 (名古屋市東区)
12月8日(火)	第2回インターネットと運用技術シンポジウム(IOTS2009) http://iot.ipsj.or.jp/iots/2009	9月11日(金)		エルフ金沢
12月10日(木)	第102回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/CE102.html	10月23日(金)	当日のみ	広島大学 (広島県東広島市)
12月11日(金)～	日本の技術革新一領域の成果と技術革新学の確立へ向けてー http://sts.kahaku.go.jp/tokutei/sym5/sym5.html	9月30日(水)	12月6日(日) 定員になり次第	国立科学博物館 上野本館
12月12日(土)	ネットワーク生態学研究グループ 第6回シンポジウム http://www.jaist.ac.jp/~yhayashi/8th_webology/index.html	9月30日(水)	定員になり次第	(独)産業技術総合研究所つくばセンター
12月17日(木)～	第47回コンピュータセキュリティ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/CSEC47.html	10月18日(日)	当日のみ	東京理科大学 森戸記念会館
12月18日(金)～	人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2009」 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/S-CH2009.html	9月24日(木)	当日可	立命館大学びわこ・くさつキャンパス

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
12月21日（月）～	第79回音声言語情報処理研究発表会	10月19日（月）	当日のみ	東京大学
12月22日（火）	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/SLP79.html			本郷キャンパス
2010年				
	論文誌「未来志向のソフトウェア工学」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/10-H.html	1月6日（水）		
	平成21年度長尾真記念特別賞候補者推薦募集 http://www.ipsj.or.jp/03somu/nagao/H21/h21boshu.html	1月15日（金）		
	論文誌「ゲームプログラミング」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/10-F.html	1月25日（月）		
	東海支部学生研究発表会助成 http://www.ipsj-tokai.jp/	2月28日（日）		
1月12日（火）～	第51回プログラミング・シンポジウム			箱根ホテル小涌園
1月14日（木）	http://www.ipsj.or.jp/prosym/			
1月13日（水）	東海支部主催講演会「数法則発見の最新技術」 http://www.ipsj-tokai.jp/		無料、会員以外の方 も参加可	中部大学リサーチ センター
1月14日（木）～	2010年ハイパフォーマンスコンピューティングと計算科学 シンポジウム（HPCS2010） http://www.hpcc.jp/hpcs/	9月25日（金）		工学院大学 アーバンテックホール
1月21日（木）～	第74回グループウェアとネットワークサービス研究発表会	11月13日（金）	当日のみ	福井工業大学
1月22日（金）	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/GN73.html			福井キャンパス
1月22日（金）	第136回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/HCI136.html	11月22日（日）	当日のみ	京都市内
1月26日（火）	第128回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/AL128.html	11月24日（火）	当日のみ	九州大学 西新プラザ
1月26日（火）～	第143回システムLSI設計技術研究発表会	11月6日（金）	当日のみ	慶應義塾大学
1月27日（水）	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/SLDM143.html			日吉キャンパス
1月26日（火）～	第77回プログラミング研究発表会	11月19日（木）	当日のみ	大阪電気通信大学
1月27日（水）	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/PRO77.html			寝屋川キャンパス
2月1日（月）～	14th Conference on Optical Network Design and Modeling, 2010 (ONDM2010) http://www.ida.ing.tu-bs.de/ondm2009/	9月11日（金）		京都工芸繊維大学
2月11日（木）～	第138回グラフィクスとCAD研究発表会			ホテル安比グラウンド(岩 手県八幡平市安比高原)
2月12日（金）	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/CG138.html			学術総合センター／ 一橋記念講堂（東京）
3月1日（月）～	インタラクション2010 http://www.interaction-ipsj.org/index.html			
3月2日（火）				
3月6日（土）～	第103回コンピュータと教育研究発表会	1月15日（金）	当日のみ	筑波大学
3月7日（日）	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/CE103.html			（東京都文京区）
3月9日（火）～	情報処理学会創立50周年記念（第72回）全国大会	11月27日（金）		東京大学
3月11日（木）	http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/72kai/			本郷キャンパス
3月12日（金）	第31回システム評価研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/sig/eva/indexja.html		当日のみ	（株）アイ・アイ・エム （東京・本郷）
4月26日（月）～	ICMU2010 The 5th International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking http://www.icmu.org/icmu2010/	9月18日（金）		アメリカ シアトル
4月28日（水）				
7月19日（月）～	SAINT2010 The 10th Annual International Symposium on Applications and the Internet http://www.saintconference.org/	1月31日（日）		韓国 ソウル
7月23日（金）				
9月7日（火）～	FIT2010 第9回情報科学技術フォーラム			九州大学
9月9日（木）	http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2010/index.html			伊都キャンパス

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 10月15日 人材募集情報（10月）更新しました
- 10月2日 「第51回プログラミング・シンポジウム」論文募集のご案内
- 10月1日 平成21年度論文賞候補論文推薦のお願い
- 10月1日 平成21年度長尾真記念特別賞・喜安記念業績賞候補者推薦募集
- 10月1日 平成22年度代表会員候補者募集
- 9月30日 [プレスリリース] Google ブック検索の提起した課題 –その功罪–
- 9月18日 鳩山由紀夫氏執筆原稿「ITと選挙」(pdf)「ライブドア問題に見るメディアの将来」(pdf) を公開しました
- 9月15日 「ゲームプログラミング」特集の論文募集、「未来志向のソフトウェア工学」特集の論文募集
- 9月14日 「コンピュータ博物館」を更新しました

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿（[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]）を添えて下記の申込先へE-mail、Faxまたは郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限: 毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関、国公立研究機関 21,000円（税込）

賛助会員（企業） 31,500円（ 〃 ）

賛助会員以外の企業 52,500円（ 〃 ）

*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金4,000円で同一内容を本会Webページに掲載できます。

申 込 先: 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係） E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

***特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと**

■北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科

募集人員 助教 1名（任期付き）
所 属 ソフトウェア科学領域
専門分野 ソフトウェア解析、評価：たとえばソースコード解析（静的解析、動的解析、リファクタリング）・テスト／検証・評価技術（メトリクス）およびツールなど
応募資格 着任時に博士の学位を有し、上記分野の教育および研究に熱意を有する方
着任時期 平成22年4月1日以降できる限り早い時期
提出書類 履歴書、学会活動と社会貢献（学術雑誌の編集委員、国際会議のプログラム委員等学術的貢献、および産業技術上の貢献も含めてください）、研究業績リスト（著書、学術論文、国際会議等に区別）、主要論文別刷（5編、コピー可）、主たる研究概要と今後の研究計画（4000字程度）、教育に対する抱負（2000字程度）、推薦書2通または意見を伺える方2名の氏名・所属・連絡先（E-mailアドレス）
応募締切 平成21年11月30日（必着）
送 付 先 〒923-1292 石川県能美市旭台1-1 北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科長 落水浩一郎
「教員応募書類在中（ソフトウェア構造論分野・助教）」と朱書き簡易書留
照 会 先 准教授 鈴木正人 E-mail:suzuki@jaist.ac.jp Tel(0761)51-1212 Fax(0761)51-1149
そ の 他 本学に関する情報についてはWebページ（<http://www.jaist.ac.jp/index-jp.html>）をご覧ください

■電気通信大学大学院情報システム学研究科

募集人員 准教授 1名（任期なし）
所 属 情報システム基盤学専攻 データベース学講座
専門分野 データベースおよびデータ工学。データベースの原理・実装・応用に関して、ACM SIGMODなどのデータベース分野を代表する国際会議において中心的に扱われる諸分野。International World Wide Web Conferenceにおいて扱われる分野のうちデータベース技術が中心となる分野
応募資格 博士の学位を有すること。上記専門分野において実績があり、大学院生の教育・研究を通して同分野の発展に貢献できること
着任時期 平成22年4月1日（または、これ以降のなるべく早い時期）
応募締切 平成21年12月4日（必着）
送 付 先 〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 電気通信大学大学院情報システム学研究科事務室
「データベース学講座准教授応募書類在中」と朱書き簡易書留
照 会 先 情報システム学研究科情報システム基盤学専攻 専攻主任 渡辺俊典
E-mail:watanabe@is.uec.ac.jp Tel(042)443-5600
そ の 他 提出書類など詳細な内容は本学教員公募欄Webページ（<http://www.is.uec.ac.jp/event/kobo/index.html>）をご覧ください

■福岡工業大学情報工学部情報工学科

募集人員	准教授または助教 1名
専門分野	情報工学
学 科 目	知能情報メディア工学またはコンピュータハードウェア工学
担当科目	情報基礎ゼミナール, マルチメディア工学, 情報工学実験, 情報工学特別講義
応募資格	専門分野のうち, とくに学科目に関連ある分野で教育・研究業績があり, 以下の項目に該当する方 博士の学位を有する方, または着任時までに取得可能な方, 教育経験のある方が望ましい, 大学院の教育・研究指導が可能な方が望ましい
着任時期	平成22年4月1日
提出書類	履歴書(学歴, 職歴, 学会および社会における活動等), 研究業績リスト(著書, 査読付き学術誌論文, 国際会議論文, その他を区分して記載), 主要論文別刷(5編程度), これまでの研究概要と今後の研究計画, 本学における教育研究に対する抱負, 博士の学位取得見込みの場合指導教授の推薦状
応募締切	平成21年12月11日(必着)
送 付 先	〒811-0295 福岡県福岡市東区和白東3-30-1 福岡工業大学 教務課長 本行義洋 Tel(092)606-0647 Fax(092)606-7310 「情報工学科教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 *原則として, 応募資料は返却いたしません。返却をご希望の方は, その旨お申し出てください
照 会 先	情報工学科 学科長 浜辺隆二 E-mail:hamabe@fit.ac.jp Tel(092)606-4868

■福岡工業大学情報工学部情報システム工学科

募集人員	教授, 准教授または助教のいずれか 1名
専門分野	情報工学に関連したロボティクス分野, 実機を用いた研究, 開発を行っている方
学科目(担当科目)	知能ロボット工学, デジタル制御, メカトロニクス, Technical Writing, 情報処理工学実験 等
応募資格	専門分野の研究業績があり, 以下の各項に該当する方 博士の学位を有する方, 大学院の担当が可能な方, 教育歴のあることが望ましい(備考: 本学は65歳定年です)
着任時期	平成22年4月1日
提出書類	履歴書(学歴, 職歴, 学会および社会における活動等), 研究業績リスト(査読付き論文とその他の論文を区別すること, また外部資金の獲得実績や特許などもあれば記載すること), 主要論文別刷(5編程度), これまでの研究概要と今後の研究計画, 教育歴(これまでの担当科目や教育改善の取り組み, オープンキャンパスなどでの展示, 出前講義などについてもあれば記載すること), 教育に対する抱負(JABEE 認定を含む, 1000字程度) *紙での提出の他, 電子ファイル等のデジタルデータでも提出してください
応募締切	平成21年12月18日(必着)
送 付 先	〒811-0295 福岡県福岡市東区和白東3-30-1 福岡工業大学 教務課長 本行義洋 Tel(092)606-0647 Fax(092)606-7310 「情報システム工学科教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 *原則として応募書類は返却いたしません
照 会 先	情報システム工学科 学科長 高崎佳明 E-mail:takasaki@fit.ac.jp Tel(092)606-5704 (ダイヤルイン) Fax(092)606-0754 (学科事務室)

■明星大学情報学部情報学科

募集人員	教授または准教授 1名
専門分野	ソフトウェア設計, プログラミング言語
担当科目	プログラミング序論, プログラミングI, II, 情報学実験, ソフトウェア設計論など
応募資格	教育に関しては, 学部学生から専門までの幅広い授業および学生指導に熱意を持ってあたり, 研究に関しては上記専門分野において高い研究能力を有すること, 博士の学位を持ち, 大学院における研究指導ができること
着任時期	平成22年4月1日
提出書類	個人調書票および研究業績リスト(本学指定のもの, 1部), 主要著書・論文別刷(3編, コピー可), 担当授業予定科目の中から1科目についての講義計画(1部), 本学での教育および研究に対する抱負(1200字程度), 可能であれば推薦書および参考意見を聞くことができる方の氏名・所属・連絡先
応募締切	平成21年12月22日(必着)
送付先/紹介先	〒191-8506 東京都日野市程久保2-1-1 明星大学情報学部 学部長 河辺 峻 E-mail:kawabe@is.meisei-u.ac.jp 「情報学部教員応募書類在中」と朱書き宅配便または書留 *応募書類は著書以外は返却いたしません
そ の 他	応募書類は, 選考の進行状況に応じて追加していただく場合があります 詳細・本学指定の用紙は, 明星大学Webページ(日野校) (http://www.meisei-u.ac.jp/society/rec/) よりダウンロードの上ご使用ください。「JRECIN研究者人材データベース」Webページ (http://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekTop/)

■北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科

募集人員	助教 1名(任期付き)
所 属	理論情報科学領域
専門分野	情報セキュリティおよび暗号理論：情報セキュリティではセキュアなソフトウェア・ネットワーク、モデリング、プライバシー等の研究分野、暗号理論では安全性解析、代数・数論アルゴリズム、暗号プロトコル・方式、認証等の研究分野
応募資格	博士の学位を有し(着任までに博士取得見込みを含む)、教育ならびに研究に熱意を有し、情報システムにおけるセキュリティに関連する研究分野や暗号学のパイオニア研究や新しい展開・応用先を発掘するフロンティア研究へも積極的に挑戦する意欲のある方
着任時期	平成22年4月1日以降できる限り早い時期
提出書類	履歴書、研究歴(学術雑誌の編集委員、国際会議のプログラム委員等学術的貢献、および産業技術上の貢献も含めてください)、研究業績リスト(著書、査読付き学術雑誌論文、査読付き国際会議、発表論文、特許、その他に区別)、主要論文別刷(5編、コピー可)、主たる研究概要(2000字程度)、今後の研究計画(2000字程度)、教育に対する抱負(2000字程度)、推薦書2通または意見を伺える方2名の氏名・所属・連絡先(E-mailアドレス)
応募締切	平成21年12月28日(必着)
送 付 先	〒923-1292 石川県能美市旭台1-1 北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科長 落水浩一郎 「教員応募書類在中(情報セキュリティ分野および暗号・助教)」と朱書き簡易書留
照 会 先	教授 宮地充子 E-mail:miyajii@jaist.ac.jp Tel(0761)51-1286 Fax(0761)51-1149
そ の 他	本学に関する情報についてはWeb ページ (http://www.jaist.ac.jp/index-jp.html) をご覧ください

■岩手県立大学ソフトウェア情報学部・研究科

募集人員	准教授または講師 1名
所 属	ソフトウェア情報学部および研究科 情報システム領域
担当講座	組織情報システム学講座
専門分野	情報システム学
担当科目	学部・大学院の「情報システム関連科目」ならびに講座内の演習指導および修論・博論指導
応募資格	情報システム分野において博士の学位を有する方、または着任までに学位取得見込みの方、大学院博士課程の研究教育指導が担当でき、情熱を持って教育・研究・学生指導にあたる方
着任時期	平成22年4月1日
提出書類	履歴書(学歴、職歴、学会活動、受賞歴などを含む)、研究業績リスト(著書、学位論文、学術論文、国際学会発表論文等に分類)、学位論文(コピー可)、主要著書・主要論文別刷(コピー可)と学位取得証明書、教育または職歴に関する業績および教育に関する見解(1000字程度)、参考となる意見を伺える方2名からの推薦状と連絡先
応募締切	平成21年12月31日
送 付 先	〒020-0193 岩手県岩手郡滝沢村菓子152-52 岩手県立大学ソフトウェア情報学部長 菅原光政 「基盤情報システム領域教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は返却いたしません
照 会 先	ソフトウェア情報学部事務室 E-mail:soft-jimu@ml.iwate-pu.ac.jp Tel(019)694-2500(ダイヤルイン)
そ の 他	選考にあたっては書類・業績審査後、面接を実施し決定します。選考結果は応募者ご本人に通知します

■神奈川工科大学情報ネットワーク・コミュニケーション学科

募集人員	教授または准教授 1名
専門分野	情報セキュリティ
担当科目(予定)	ネットワークセキュリティ、情報セキュリティマネジメント、インターネット関連科目、情報ネットワーク実験など
応募資格	当該分野における教育あるいは実務経験が豊富であること、博士号取得者または取得見込みであること
着任時期	平成22年4月1日
提出書類	履歴書(学会および社会における活動、経験業務内容などもあれば記載)、研究業績リスト(査読付き学術論文、国際会議、口頭発表論文、著書、特許等に分けて記載)、主要論文別刷(3編以内)、教育および研究に対する抱負(各1000字程度)、推薦書(または所見を求め得る方1名以上の氏名と連絡先)
応募締切	平成22年1月7日(必着)
送 付 先	〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030 神奈川工科大学庶務担当部長気付情報ネットワーク・コミュニケーション学科 教員選考委員長 「情報ネットワーク・コミュニケーション学科教員応募」と朱書き書留
照 会 先	情報ネットワーク・コミュニケーション学科教授 上平員丈 E-mail:uehira@nw.kanagawa-it.ac.jp Tel(046)291-3281

■福岡工業大学情報工学部情報システム工学科

募集人員 教授または准教授のいずれか 1名
学科目(主な担当科目) 組込みソフトウェア, 応用プログラミング, 情報処理工学実験 等
専門分野 情報処理工学分野を研究し, 組込みソフトウェアの研究開発経験があり, 実験や研究で実践的な学生指導ができる方
応募資格 専門分野の研究業績があり, 以下の各項に該当する方
博士の学位を有する方, 大学院の教育, 研究指導が可能な方, 教育歴のあることが望ましい(備考: 本学は65歳定年です)
着任時期 平成22年4月1日
応募締切 平成22年1月8日(必着)
提出書類 履歴書(学歴, 職歴, 学会および社会における活動等), 研究業績リスト(査読付き論文とその他の論文を区別すること, また外部資金の獲得実績や特許などもあれば記載すること), 主要論文別刷(5編程度)*, これまでの研究概要と今後の研究計画, 教育歴(これまでの担当科目や教育改善の取り組み, オープンキャンパスなどでの展示, 出前講義などについてもあれば記載すること), 教育に対する抱負(JABEE認定を含む, 1000字程度) *紙での提出の他, 電子ファイル等のデジタルデータでも提出してください, ただし, ※は除く
送付先 〒811-0295 福岡県福岡市東区和白東3-30-1 福岡工業大学 教務課長 本行義洋 Tel(092)606-0647 Fax(092)606-7310
「情報システム工学科教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 *原則として応募書類は返却いたしません
照会先 情報システム工学科 学科長 高崎佳明 E-mail:takasaki@fit.ac.jp Tel(092)606-5704 (ダイヤルイン)
Fax(092)606-0754 (学科事務室)



論文誌ジャーナル掲載論文リスト Vol.50 No.11 (Nov. 2009)

【特集：組込みシステム工学】

- 特集「組込みシステム工学」の編集にあたって
中島 震, 武内良典
- SuperH マイコンへの搭載を目的とした連続音声認識ソフトウェア Julius の計算量削減
小窪浩明 他
- 不可視バーコードにおける印刷支援システム
上條浩一 他
- ハッシュ関数 Whirlpool の高スケーラブル回路アーキテクチャ
菅原 健 他
- プロセス代数に基づくシステムレベル仕様合成
岩政幹人 他
- 10MbpsCAN プロトコルの設計と評価
倉地 亮 他
- 製品リリース履歴における論理的結合集合に基づいた横断フィードバック分析
吉村健太郎 他
- 教育・研究に有用な MIPS システムシミュレータ SimMips
藤枝直輝 他
- 飛行船制御を題材としたプロジェクト型ソフトウェア開発実習
沢田篤史 他

【一般論文】

- 同期書き込みでのファイル同時作成時におけるフラグメントと性能を改善するサイズ調整プリアロケーション方式
中村隆喜 他
- ソフトウェア開発工数予測のためのフィットデータ選定方法
戸田航史 他
- Backup and Recovery Scheme for Distributed e-Learning System[†]
Kazunari Meguro 他
- 最小の論理命令数での GF(3) 上の加算による η_T ペアリングの高速実装
川原祐人 他
- 異種分散環境におけるロールベースアクセス制御の定量的リスク評価
近藤誠一 他
- モンテカルロ木探索によるコンピュータ将棋*
佐藤佳州 他
- 動的信号を用いた SOM によるネットワークの可視化
岩田泰士 他

*: 推薦論文 Recommended Paper

†: テクニカルノート Technical Note

～*～*～ 会員サービスのご案内 ～*～*～

会員の皆様に特典としてご利用いただける各種サービスをご案内いたします（本会 Web ページ：<http://www.ipsj.or.jp/06mem/kaiin/service-menu.html> 参照）。会員特典等にご意見ご要望等がございましたら事務局会員サービス部門（E-mail:mem@ipsj.or.jp）までお寄せください。

ホテル（10～53%割引）

サンルートホテルチェーン、ホテル法華クラブ、JR ホテルグループ、東急ホテルズ、プリンスホテル、阪急阪神第一ホテルグループ、JR 東日本ホテルチェーン、グランビスタホテル&リゾート、都ホテルズ & リゾート、ホテル京急グループ、ダイワロイヤルホテルズ、FUJIYAMA 倶楽部、ウィクリーマンション東京

レンタカー（10～51%割引）

ニッポンレンタカー、日産レンタカー、マツダレンタカー

パック旅行（3～7%割引）

日本旅行、近畿日本ツーリスト、トップツアー、京王観光、ジャルパックサービス、エンターティメントエクスプレス

その他（書籍・コンピュータソフト割引販売、レンタルオフィス）

UC 丸善アカデミックカード、パーシティウェブ（教育機関所属の方はアカデミック価格で）、デスカット

ITの最新情報，研究発表の場の提供を通じて，あなたのお役に立ちます

詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

会員募集中!!

今一番新しい研究分野は何か？

IT時代をリードしたい！

そうだ、情報処理学会に入るぞ！



申込／照会先 社団法人 情報処理学会
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp

その昔ヴァスコ・ダ・ガマやコロンブスの活躍（先住民がいたにもかかわらず「発見」などという言葉を使う西欧人は自分の論理でしかなくおこがましいのですが）により世界の端と端が繋がって一周している（言わば無限にフラット化している）という事実が世の中に明らかにされました。それから遙かな時が過ぎ、3年程前のトーマス・フリードマン著「フラット化する世界」によれば、インターネットの飛躍的發展は中国・インドにグローバルな競争力を与え世界の経済は一体化したとのことでした。2009年のJISAコンベンションでは日本棋院王銘琬九段により、「フラット化する碁盤」という講演が行われました（講演にはモンテカルロ法を用いたコンピュータ囲碁「彩」の作者山下宏氏と将棋の矢内理絵子女王も参加。山下氏のモンテカルロ法を用いた円周率の計算実演は百聞は一見に如かずで良かったです）。

碁盤は物理的には真っ平らに見えますが隅と辺の属性は中央の属性と異なるために価値が違い論理的にはフラットではないのですが、王九段は碁盤をなるべくフラットに近い状態で見ようとしており、この手法は布石段階では有効であるとのことでした。この話から以前球体を模した囲碁を試したことを思い出しました。碁盤は左右前後で繋がっていると考え、辺に石を置くとときは反対側の辺にも石を置き、一隅に石を置くとときは残りの三隅にも石を置きます。この擬似球体碁を打つてみると当然のことながら碁盤は物理的には反対側と繋がっていないので、隅や辺の効能がなくなるわけではないのですが、隅や辺の戦いになると他所の隅や辺にも影響し、やたらとややこしいのでありました。しかし囲碁の面白さはこの隅や辺の歪の存在によるところが大きいのであり、これが歪の存在しないフラット化した球体碁盤であつたら四千年の歴史を越えて存在しなかったのではと思います。

将棋は王様を取れば勝ちでありゲームの目的は明確ですが、囲碁は地が多い方が勝つという定義なので結局しないとどちら

が勝ちか分からずコンピュータにとってゲームの目的を明確化するのは困難でした。ところがモンテカルロ囲碁（以下モン君）は一手ごとに最後まで打って勝ち負けを判断するので最初から明確な目的を持った手法であり、この点囲碁はまさしくモンテカルロ法に向いていると王九段は語ります。

王九段の解説はさらに続きます。モン君は碁盤に適当に石を置いていくので対象物がフラットな場合、すなわち部分と全体が近い場合に威力を発揮します。しかし現実の碁盤はフラットではないので今のままのモン君では限界があります。ここでハイブリッドのような仕組みにより部分と全体を繋ぐことができればプロに近付くことが可能でしょう。モン君が進化を遂げてよしんば人間が負けてしまった場合でも、碁も将棋も元々人を楽しませるためにあるので気にすることはありません。モン君に負けてもモン君はこのあたりを打ってくるのだなと楽しみにすることもできます。モン君が明らかに高いレベルに到達しても、プロ棋士としては囲碁に対しての自負があるのでモン君の弱点を見つけるというせめぎ合いも楽しんでいただけたらと思います。囲碁が全解明された場合は囲碁そのものをファンが楽しめなくなりますが、それは当分の間起こりそうにありません。コンピュータはこれまでは答えがはっきりしているものに強くそのような分野で役立ってきましたが、囲碁のようにあいまいな分野のものでも処理が可能であるということです。囲碁がそのための実験台を提供できるとすれば、碁を打つ者としては嬉しい限りです。コンピュータに対し対抗心はまったくなくモン君は友達です、と暖かいお言葉でした。

モンテカルロ囲碁については、2008年6月の『情報処理』『モンテカルロ木探索—コンピュータ囲碁に革命を起こした新手法』に詳しく解説されています。

朝みどり澄み渡りたる大空のひろきを己が心とものがな

（湖東俊彦／事務局長）

複写される方へ

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写してください。ただし、(社)日本複写権センター（同協会より権利を再委託）と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません（社外頒布用の複写は許諾が必要です）。権利委託先：一般社団法人学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル
E-mail: info@jaacc.jp Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619

なお、著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、本会へご連絡ください。

また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください。
Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

Notice for Photocopying

If you wish to photocopy any work of this publication, you have to get permission from the following organization to which licensing of copyright clearance is delegated by the copyright owner.

<All users except those in USA>

Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)
6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan
E-mail: info@jaacc.jp
Phone: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

<Users in USA>

Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

ISO/IEC JTC 1 が担当する情報技術関連の国際標準の審議をする上でのルールブックにあたる JTC 1 Directives (専門業務用指針) の見直しが進められています。IT の標準化は、他の分野と違い迅速性が求められるという理由からか、1987 年の JTC 1 設立以来、ISO/IEC が共通に使用している ISO/IEC Directives Part 1 とは別に、独自の Directives を採用してきたのですが、今後は、Supplement (補足指針) および Standing Documents (常設文書) として多くの独自の部分を残しながらも基本的には JTC 1 も ISO/IEC Directives Part 1 を使用することになります。背景には、この 20 年で ISO/IEC Directives も見直しを進めてきており、規格開発の迅速性の要求に十分耐え得るという判断と JTC 1 メンバ国の合意の下に改定が続けられてきた JTC 1 Directives ではありますが、詳細すぎる点があり、そのような部分は一気に運用部分として外に移しすっきりさ

せるべきという ISO/IEC 上層部の思惑があったと推測します。この移行のための作業は 2005 年に開始され、すでに 5 年がかりで JTC 1 事務局や各メンバ国が膨大なレビュー時間を費やし行われているものなのですが、かえって使いにくくなるという懸念が渦を巻いているのが現状です。しかしながら現状の JTC 1 Directives の中には、表現のあいまいな部分や統一のとれていない部分が数多くあり、幹事国業務を担当するものにとつては、その解釈が悩みの種となっているので、今回の変更で少しでも解決されることを望んでいます。現在の予定では、投票を含めた数回のレビューを行い正式な施行は、2010 年 7 月となっています。使いにくさへの懸念が解消され、情報技術の標準化活動にかかわる皆にとって、少しでもよいものになればと思います。

(木村敏子/規格部門)

■ 各種問合せ先 ■

(社) 情報処理学会 (本部) ※ 支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担 当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会費等口座振替、海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、転載許可、出版、著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル）の編集・査読
調査研究／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、シンポジウム、研究グループ、論文誌（トランザクション）
■ 事業部門			
事 業／国 際	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、連続 세미나、プログラミング・シンポジウム、国際会議、IFIP 委員会
■ 管理部門			
総 務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会、支部、役員選挙、名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、電子化委員会、電子図書館、IPSJ メールニュース
図 書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒 105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

ご意見をお寄せください！

【12月10日頃までにお出しく下さい】

宛 先 (社) 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)

<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq5011.html> Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp

(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)

※ ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。

<http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html>

[コード]

1. ご氏名
2. ご所属 Tel. () -
3. E-mail:
4. 業種: (a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)
(e) 学生 (f) その他 4-
5. 職種: (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)
(i) 学生 (j) その他 5-
6. 年齢: (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6-
7. 性別: (a) 男性 (b) 女性 7-
8. あなたはモニタですか? : (a) はい (b) いいえ 8-
9. あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合 :
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9-
10. 今月号 (2009年11月号) の記事についてのあなたの評価をご記入ください。
[a …大変参考になった b …よい c …普通、どちらとも言えない d …悪い e …読んでいない]

特集：クラウドコンピューティング

1. クラウドの成立過程とその技術的特徴について 10-1-
2. Google のクラウド技術 10-2-
3. Amazon EC2 10-3-
4. クラウド技術とオープンソース 10-4-
5. スケールアウトの技術 10-5-
6. クラウドとモバイルデバイス 10-6-
7. クラウドアプリケーションの分析と開発手法 10-7-
8. クラウドコンピューティングにおけるセキュリティとコンプライアンス 10-8-

特集：ネットワーク仮想化技術と通信利用型放送

1. 先端技術実証の場としてのさっぽろ雪まつり 10-9-
2. 仮想化ネットワーク 10-10-
3. ソフトウェアコーデックによる高品質 HD 映像の IP 伝送 10-11-
4. エリアワンセグ実験 10-12-
5. ネットワーク対応エリアワンセグシステム 10-13-
- コラム：日韓 HD 生中継 10-14-

情報処理技術遺産：タイガー計算器 No.59 10-15-

"I" 見聞録：SIGGRAPH 2009 10-16-

欧州駐在員便り：英独仏の TIME 事情概観 10-17-

11. 特に興味を持ってお読みになった記事とその感想をお書きください。

12. 著者への質問、今後取り上げて欲しいテーマなどありましたらお書きください。

クラウド特集は、昨年度まで会誌編集委員であった木村啓二先生（早稲田大学）の企画です。木村先生は志半ばで編集委員としての任期を終えられ、クラウドコンピューティングに多少の縁がある私が、担当を引き継ぐことになりました。今年度より編集委員に着任して早々、右も左も分からぬまま締切の波が押し寄せ、戸惑いつつも、なんとか無事に皆様のお手元に特集記事をお送りすることができました。非常にタイトなスケジュールにもかかわらず快くご協力いただいた、ゲストエディタの丸山先生をはじめとする執筆者の皆様、編集委員の皆様、事務局の皆様のお陰です。この場をお借りして、皆様に感謝の意を表します。

本特集は、すでに世の人々の注目を集めている Google や

Amazon のサービス解説、クラウドコンピューティングを支える主要な技術の解説、そして多くの人が関心を寄せるクラウドコンピューティングにおけるセキュリティの問題や今後の展望などで構成されています。文字通り捉えどころが明確でないクラウドコンピューティングをさまざまな視点で切り取った、大変興味深い内容となっております。

残念ながら、現在のクラウドコンピューティングは米国主導の感が否めません。本特集が多くの読者を刺激し、日本からも多くの先導的アクティビティが生まれるきっかけとなれば嬉しく思います。

（秋岡明香／本特集エディタ）

「ネットワーク仮想化技術と通信利用型放送」特集は、提案当初「さっぽろ雪まつり中継での実験報告」の色合いが強かったため、会誌編集委員会でもイベントや研究会に関する単なる報告とならないようにとの指摘を受け、技術的新規性を提案できる内容にするために長時間を要した。最近のネットワークは機器の性能が向上し、つなげば動くものと考えられる傾向が強いため、ネットワークを正しく稼働させる運用技術や管理技術はあまり注目されていない。また、運用や管理は「研究」テーマにもなりにくく評価されにくい傾向にある。しかし、今回のように先端技術を結集したネットワークやネットワークアプリケーションでは、一筋縄ではいかないことが多くそこに実証実験の意味が生じる。今回のさっぽろ雪まつり実証実験では数多くの組織が参加し、多様な実験を実施したことは本文中でも述べられている。成功した実験もあればうまくいかなかったものもある。特集を組むにあたり、できるだけ多くの実験を紹介したかったが、多忙で執筆をお引き受けいただけなかったチームもあったのが残念である。少なくとも本特集では、これらが未完の技術であること、また机上検討やシミュレーションでのネットワーク伝送品質やトランスコードの見積もりではうまくいかないであろう技術課題を、実例をもとに示せたのではないかと考える。

と考える。

今後、我が国の財政状況からこのような大規模実験ネットワークを維持する予算も獲得が困難になることが予想されるが、我が国基幹産業の先端的取り組みとして評価され、ぜひ来年以降もこのような実証実験から、新たな知見が生まれ経験が蓄積されていくことを一研究者として祈念する。

また、度重なる編集方針の変更、集まった原稿への査読と修正依頼も相当な回数に上った。編集事務局には「編集にあたって」の度重なる書き直しを含め大変ご迷惑をおかけした。特にネットワーク仮想化技術についての技術的説明が、単なる商用ルータの実装の話題に見えてしまうなど分かりにくく最終的に同稿の図-2（1109 ページ）を加えた。門外漢の素人図面であるため、早川氏、森氏の「仮想化ネットワーク」と合わせてご理解いただきたい。また本特集の「実験者による研究者のための実装技術と実験データ中心の報告」に関するご意見をお寄せいただければ幸いです。また、厳しい日程設定にもかかわらずご執筆いただいた皆様と編集事務局に改めてお礼申し上げる。ありがとうございました。実り多き秋の日に。

（中川晋一、熊谷誠治／本特集エディタ）

次号（12月号）予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」クラウドコンピューティング時代の大規模運用技術一次世代ネットワーク機器管理プロトコル NETCONF —

仮想化によるネットワークアーキテクチャの進化と新しい管理技術／NETCONF の標準化状況／NETCONF 製品化と API/SDK／ダイナミックネットワーク制御技術 NETCONF-API の活用によるネットワーキングの適用拡大／ネットワークシステム運用管理への応用

「特集」研究会推薦博士論文速報

報 告	情報システム教育コンテストが意味するもの “ISECON2008” の実施で見えてきた産学の教育課題 …… 都倉信樹 他
解 説	健康機器向け通信プロトコルとその標準化動向…………… 柏木宏一
	図書館経営における新しい情報技術の活用…………… 日高昇治
	円周率 2 兆 5769 億 8037 万桁への道…………… 高橋大介
	北米のイノベーション教育…………… 岡 瑞起 他

コラム “I” 見聞録／欧州駐在員便り

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4 色	2 色	1 色
表 2	346,500 円 (税抜 330,000 円)	—	—
表 3	288,750 円 (税抜 275,000 円)	—	—
表 4	404,250 円 (税抜 385,000 円)	—	—
表 2 対向	315,000 円 (税抜 300,000 円)	—	—
表 3 対向	278,250 円 (税抜 265,000 円)	199,500 円 (税抜 190,000 円)	162,750 円 (税抜 155,000 円)
前付 1 頁	262,500 円 (税抜 250,000 円)	173,250 円 (税抜 165,000 円)	141,750 円 (税抜 135,000 円)
前付 1/2 頁	—	—	84,000 円 (税抜 80,000 円)
前付最終	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
目次前	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
差込 (A 判 70.5kg 未満 1 枚)	288,750 円 (税抜 275,000 円)		
差込 (A 判 70.5kg ~ 86.5kg 1 枚)	367,500 円 (税抜 350,000 円)		
同封 (A 判 1 枚)	367,500 円 (税抜 350,000 円)		

■「情報処理」

発 行 社団法人 情報処理学会
 発行部数 25,000 部
 体 裁 A4 判
 発 行 日 毎当月 15 日
 申込締切 前月 10 日
 原稿締切 前月 20 日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1 頁 天地 260mm× 左右 180mm
 1/2 頁 天地 125mm× 左右 180mm
 雑誌寸法 天地 297mm× 左右 210mm

■問合せ・お申込み先

〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27
 アドコム・メディア (株) (Tel/Fax/E-mail は下に記載)

* 原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 * 同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Fax にて (または E-mail にて必要事項を記入の上) アドコム・メディア (株) 宛にご請求ください。

■「情報処理」 50 巻 11 号 掲載広告 (五十音順)

☐ インタフェース…………… 表 4 ☐ コロナ社…………… 目次前上
☐ オーム社…………… 表 2 対向 ☐ 三菱電機インフォメーションシステムズ …… 表 3

☐ すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ お 名 前			
勤 務 先	所属部署		
所 在 地	(〒 -)		
TEL ()	-	FAX ()	-
ご専門の分野			



お問合せ・お申込み・資料請求は
 広告総代理店 **アドコム・メディア (株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp>) 「会員サービス」のページからも各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 (社) 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel. (03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20 ～ 50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

mitsubishi
Changes for the Better

三菱電機 (株)

●●● 賛助会員 (10 ～ 19口)



株式会社NTTデータ
(株) NTT データ

Google

グーグル (株)

docomo

(株) NTT ドコモ

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft

マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3 ～ 9口)



NTTコムウェア
(株) NTT コムウェア

OKI

沖電気工業 (株)



Fusic Co., Ltd.

(株) Fusic

INFOJAM

(株) インフォジャム

uejima

(株) うえじま企画

SONY

ソニー (株)

コトバ★ウチウ

(株) ニュースウォッチ

Panasonic
ideas for life

パナソニック (株)

楽天

楽天 (株)

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約 100 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

(社) 情報処理学会 会誌編集部

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03)3518-8375